

校長の自慢 『現代社会のT T (ティーム・ティーチング) 授業』

本校では、社会を生き抜く「豊かな学び」の涵養を目指して、すべての教科で少人数展開をしています。画一的な授業ではなく、アットホームな雰囲気です。生徒たちの興味・関心を刺激するとともに、一人ひとり違う理解力に合わせた指導をしています。

今回紹介するのは、昨年から実施している1・2年生の現代社会でのT T 授業です。授業では、門谷先生&加賀谷先生、門谷先生&辻先生、そして首藤先生&前田先生のペアでそれぞれ授業を進めています。



1年生の授業



今、社会的関心の高い「憲法」について、門谷先生が板書をし、授業を展開します。加賀谷先生は後方支援です。

まずは、班別活動です。「憲法クイズ」にチャレンジです。「天皇や皇族は、苗字がない?」「皇族の女子は、一般人と結婚すると皇族ではなくなる?」という問いに班員で答えを出します。一人の力ではなく、仲間の力で正解率が高まることを実感しています。また挙手することで授業への参画意識も高まります。2人の先生とも班活動を見て回ることができるので、生徒たちも質問しやすい環境です。

後半は、通常の座席に戻り、プリント学習。まずは、「君が代」の歌詞を生徒に言ってもらい、その意味を解説しました。門谷先生が板書している間に、加賀谷先生は生徒1人ひとりに声を掛けます。中には、集中力の切れてきた生徒もいます。そんな時は、粘り強く丁寧に指導します。

「先生に聞きやすい」とT T 授業は、生徒たちに好評です。もちろん担当者は個人的な教材研究以外に、授業展開の打ち合わせもしなければなりません。学習内容の定着率も高くなります。ペアの先生方の授業力の向上にもつながることは確かです。

